

■ 県央

情報通信産業分野や電子部品製造分野では、自動車業界において急増するソフトウェア開発や部品需要に応える開発拠点の新設などの動きがあるほか、医療機器製造分野の企業においても新技術の開発に向けて新会社を設立するなど、雇用機会の拡大が見込まれる。また、物流分野では、働き方改革関連法施行による「2024年問題」への対応として、新たに物流拠点を整備する動きが見られる。一方、医療・福祉分野、宿泊業・飲食サービス業分野や建設関連分野など各種分野では、企業等の採用意欲は高いが人材の確保が課題となっている。

■ 県南

自動車関連産業では、新車販売台数の回復により関連企業での生産拡大などが期待されるほか、電気自動車（EV）の需要拡大に対応した部品増産が計画されている。

半導体関連産業では、世界的な需要の回復が予想されており、今後も新工場建設や増設などの設備投資が予定されている。

また、これら以外の分野の企業でも当圏域での事業拡大に向けた動きが見られている。

こういった状況から、当圏域は雇用機会の拡大が見込まれる一方、企業が必要な人材確保が課題となっている。

■ 沿岸

水産加工業は、依然として求人の充足が難しく人材確保が課題となっている一方、大手製造業の新工場稼働や新たな道の駅の開業により、地元雇用の促進が図られるとともに、現在、アパレル製造の物流拠点施設の建設、電子機器製造の工場増設などの整備が進められており、新たな企業動向に伴う将来的な新規雇用の拡大が期待される。

■ 県北

地域の主要な産業であるプロイラー産業やアパレル産業の業績は堅調な状況。

ものづくり産業は、医療関連製品や電気機械部品を生産する企業で、受注が堅調に推移して新規雇用を予定している企業がある一方、半導体関連の需要減等により厳しい状況が続いている企業もあり、生産品目によって状況が異なる。

産業全般において、人材不足感が高くなっており、就職を希望する新規高卒者の管内就職や求職者と管内企業とのマッチングが課題となっている。

